

SMART SOUNDBAR 900

安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

**UK
CA** この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

本書をよくお読みください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。

ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱い際には衝撃を与えないようにご注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理してください。

- ・火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ・水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- ・インバータ電源は使用しないでください。
- ・車内や船上などで使用しないでください。
- ・万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。
- ・本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学火傷などの原因になる恐れがあります。
- ・本製品を壁掛け設置するには、次の金具のみを使用してください: Bose Soundbar Wall Bracket
- ・本製品を設置するには、テレビやモニターの通気孔を塞がないようにしてください。テレビやモニターに付属の取扱説明書を参照し、製造元の指示に従って設置してください。
- ・空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷の原因となることがあります。また、分解や充電、焼却を行ったり、熱を与えたりしないでください。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダイノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャンネルの他の移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、以下の規範または文書に準拠しています。Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5W	すべてのネットワークタイプ ≤ 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	N/A	≤ 2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Wi-Fi*: 無効化するには、リモコンのBose Musicボタンとトラック送りボタンを同時に長押しします。有効化するには、もう一度長押しします。 Bluetooth*: 無効化するには、リモコンのBluetooth®ボタンを10秒間長押しして、ペアリングリストを消去します。有効化するには、Bluetooth®ソース機器とペアリングします。 Ethernet: 無効化するには、Ethernetケーブルを外します。有効化するには、Ethernetケーブルを差し込みます。	

ヨーロッパ向け:

運用周波数 2400 ～ 2483.5 MHz、5150 ～ 5350 MHz、および 5470 ～ 5725 MHz

最大送信出力 20 dBm EIRP 未滿

運用周波数帯: 5725 ～ 5850 MHz

最大送信出力 14 dBm (25mW) EIRP 未滿

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを 5150 ～ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK(NI)	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスの管理規制**第12条**

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。



商電池請回収

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチック パーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Powered Speaker、型式: 433829						
	制限される物質および化学記号					
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1: 「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2: 「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「1」は2011年または2021年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
Phone Number: +886-2-2514 7676

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

英国における輸入元: Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

入力定格: 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、65W

CMIT IDはサウンドバー背面の製品ラベルに記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、サウンドバーの背面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: 433829

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。

セキュリティ情報



この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Bose Music アプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

Amazon、Alexa、Amazon Music およびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Apple、Apple のロゴ、Apple Music、および AirPlay は Apple Inc. の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Works with Apple バッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されている技術に対応するように専用設計され、Apple 社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

 Dolby、Dolby Atmos、およびダブルDマークは Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。この製品は Dolby Laboratories のライセンスに基づいて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright © 2012-2020 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Google および Google Play は Google LLC の商標です。

 HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI のロゴは HDMI Licensing Administrator, Inc. の米国および他の国々における商標または登録商標です。

この製品は iHeartRadio サービスに対応しています。iHeartRadio は iHeartMedia, Inc. の登録商標です。

この製品は Microsoft の特定の知的財産権によって保護されています。Microsoft から使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

Pandora は Pandora Media, Inc. の商標または登録商標であり、許可を得て使用しています。

QuickSet は、アメリカ合衆国およびその他の国における Universal Electronics Inc. の登録商標です。
© UEI 2000-2021

この製品には Spotify ソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます：www.spotify.com/connect/third-party-licenses

Spotify は Spotify AB の登録商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

ADAPTiQ、Bose、Bose Bass Module、Bose Music、Bose Music のロゴ、Bose Noise Cancelling Headphones、Bose Smart Soundbar、Bose Soundbar Wall Bracket、Bose Surround Speakers、QuietComfort、SimpleSync、SoundLink、SoundLink Revolve、および Voice4Video は、Bose Corporation の商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2022 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

Bose Smart Soundbar 900の製品コンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. リモコンの *Bluetooth* ボタンとトラック戻しボタン **K1** を5秒間長押しします。
2. USBケーブルをサウンドバーの背面にあるSERVICE端子に接続します。
3. ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。
4. パソコンのブラウザーウィンドウに「<http://203.0.113.1/opensource>」と入力して、エンドユーザー使用許諾契約書(「EULA」)とライセンス開示情報を表示します。

内容物の確認

内容物	14
-----------	----

DOLBY ATMOS®テクノロジー	15
---------------------------------	----

サウンドバーの設置

推奨事項	16
------------	----

サウンドバーを壁に取り付ける	17
----------------------	----

壁に取り付けた状態で音響特性を調整する	17
---------------------------	----

サウンドバーのセットアップ

サウンドバーを電源に接続する	18
----------------------	----

ネットワーク待機状態	18
------------------	----

BOSE MUSICアプリのセットアップ

Bose Musicアプリをダウンロードする	19
------------------------------	----

BOSE MUSICアプリを既にお使いのユーザー

既存のアカウントにサウンドバーを追加する	20
----------------------------	----

別のWi-Fi®ネットワークに接続する	20
---------------------------	----

ADAPTiQ自動音場補正

ADAPTiQ自動音場補正を実行する	21
--------------------------	----

サウンドバーの操作

リモコンの機能	22
---------------	----

電源オン/オフ	23
---------------	----

自動ウェイク機能(光デジタル接続のみ)	23
---------------------------	----

ソース機器	24
-------------	----

プリセット	25
-------------	----

メディアの再生と音量調節	26
--------------------	----

音声アシスタントの操作	27
-------------------	----

オーディオを調整する	27
------------------	----

音声アシスタント

音声アシスタントのオプション	28
音声アシスタントのセットアップ	28
Googleアシスタントにアクセスする	29
音声で操作する	29
サウンドバーの操作ボタンを使用する	30
Googleアシスタントで音楽を再生する	31
デフォルトの音楽サービスを選択する	31
Amazon Alexaにアクセスする	32
音声で操作する	32
サウンドバーの操作ボタンを使用する	33
Amazon Alexaによる通話とメッセージング	34
Alexa コール・メッセージ機能のセットアップ	34
音声で操作する	34
おやすみモードの設定	35
音声で操作する	35
Voice4Video™でオーディオをコントロールする	35
Voice4Video™をセットアップする	35
音声で操作する	36

プリセットのカスタマイズ

プリセットを設定する	37
プリセットを再生する	38

BLUETOOTH® 接続

モバイル機器を接続する	39
モバイル機器の接続を解除する	40
モバイル機器を再接続する	40
別のモバイル機器を接続する	40
サウンドバーのデバイスリストを消去する	40

AIRPLAYによる音楽のストリーミング再生

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する	41
アプリから音楽をストリーミング再生する	41

サウンドバーの状態

Wi-Fiの状態	42
Bluetoothの状態	42
音声アシスタントの状態	43
マイクオフインジケーター	44
メディアの再生と音量の状態	44
アップデートとエラーの状態	45

高度な機能

Wi-Fi機能のオン/オフを切り替える	46
---------------------------	----

BOSE 製品への接続

アクセサリ機器を接続する(オプション)	47
SimpleSync™テクノロジーにより Bose SoundLink Bluetooth speaker または Bose headphones を接続する	47
特長	47
対応製品	47
Bose Music アプリを使用して接続する	48
Bose SoundLink Bluetooth speaker または Bose headphones を 再接続する	48

補足事項

サウンドバーをアップデートする	49
リモコンの電池の挿入	49
サウンドバーのお手入れについて	50
交換部品とアクセサリ	50
保証	50

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	51
その他の対処方法.....	51
サウンドバーをリセットする	59

付録: セットアップガイド

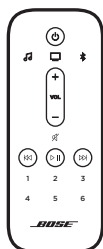
接続オプション.....	60
サウンドバーをテレビに接続する	61
オプション1 (推奨): HDMI eARC端子またはARC端子接続.....	61
オプション2: 光デジタル接続.....	62
音が出ることを確認する	63

内容物

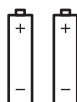
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



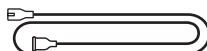
Bose Smart Soundbar 900



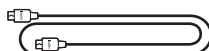
リモコン



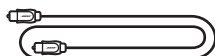
単四形乾電池 (2本)



電源コード*



HDMIケーブル



光ケーブル



ADAPTiQ用ヘッドセット

* 電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

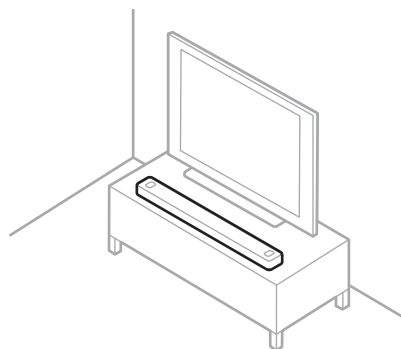
注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合、または、サウンドバーのガラス部分が割れていた場合は使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/Support/SB900

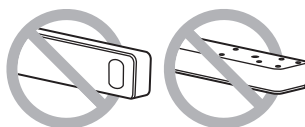
Bose Smart Soundbar 900はDolby Atmos®テクノロジーに対応しています。このサウンドバーは、追加されたアップファイアリングスピーカーにより、全方向から高品質なサウンドを提供し、優れた没入感と全身を包み込むようなサラウンドサウンド体験を実現します。

推奨事項

- サウンドバーは、前面を部屋の中央に向けた状態で、テレビ前面の真下(推奨)または真上に配置します。
- 最高の音質を得るためには、サウンドバーの上部にあるスピーカー(アップファイアリングスピーカー)が塞がれていないことを確認してください。
- サウンドバーを壁に取り付ける場合は、サウンドバーの上部がテレビから10 cm以上離れていることを確認してください。
- サウンドバーを本棚やテレビ台などに置く場合は、最高の音質を得るために、できるだけ棚や台の前面に近づけてください。
- サウンドバーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- サウンドバーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、両側の足が台の上にしっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でサウンドバーの位置がずれることがあります。
- サウンドバーの背面を壁や家具などから1 cm以上離してください。背面にある開口部が塞がれると、音質が低下する恐れがあります。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- ワイヤレス信号の干渉を回避するには、他のワイヤレス機器から30 ~ 90 cm以上離れた場所に設置します。
- 無線の干渉を回避するため、一部のWi-Fiアクセスポイントは、サウンドバー、オプションのベースモジュール、オプションのサラウンドスピーカーから最大2.4 ~ 3.0 m離して設置する必要がある場合があります。
- 最高の音質をお楽しみいただくため、サウンドバーを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置したりしないでください。
- サウンドバーの上には物を置かないでください。



注意: サウンドバーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでください。

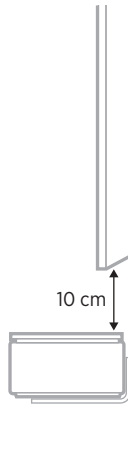


サウンドバーを壁に取り付ける

サウンドバーは壁に取り付けることができます。Bose Soundbar Wall Bracketは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/Support/SB900

注: サウンドバーの上部がテレビから10 cm以上離れていることを確認してください。



注意: 純正以外のアクセサリーを使用してサウンドバーを設置しないでください。

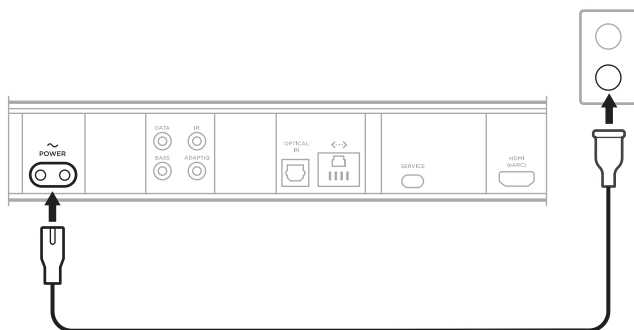
壁に取り付けた状態で音響特性を調整する

サウンドバーを取り付けた後で、ADAPTiQを起動する必要があります(21ページを参照)。

注: サウンドバーを壁から取り外した場合は、もう一度ADAPTiQを実行します。

サウンドバーを電源に接続する

1. 電源コードをサウンドバーの背面にある **POWER** 端子に接続します。
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



サウンドバーの電源がオンになり、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

ネットワーク待機状態

音楽の再生を停止して20分間ボタンを操作しない、または音声アシスタントに話しかけないと、サウンドバーがネットワーク待機状態になります。

サウンドバーをネットワーク待機状態から復帰するには、次のいずれかの操作を行います。

- リモコンの電源ボタン 、ソースボタン(24ページを参照)、またはBose Music ボタン  を押してからプリセットボタン(25ページを参照)を押します。
- モバイル機器またはBose Music アプリでオーディオを再生または再開します。
- Google アシスタントまたはAmazon Alexaに話しかけます。

注:

- ネットワーク待機状態で音声アシスタントにアクセスするには、Bose Music アプリ(19ページを参照)を使用してサウンドバーを設定し、マイクをオンにしておきます(44ページを参照)。
- Bose Music アプリを使用してスタンバイタイマーを無効にすることができます。このオプションは設定メニューから設定できます。

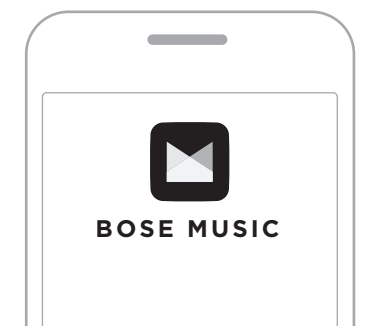
Bose Musicアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からサウンドバーのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、音楽のストリーミング再生、プリセットの設定と変更、音楽サービスの追加、インターネットラジオ局の検索、GoogleアシスタントやAmazon Alexaの設定、音声ガイドの言語の選択、サウンドバーの設定の管理、新機能の適用を行うことができます。

注: 別のボーズ製品用のBose Musicアカウントを既に作成してある場合は、既存のアカウントにサウンドバーを追加します(20ページを参照)。

BOSE MUSICアプリをダウンロードする

1. モバイル機器でBose Musicアプリをダウンロードします。



2. アプリの手順に従ってください。

既存のアカウントにサウンドバーを追加する

Bose Smart Soundbar 900を追加するには、Bose Musicアプリを開いてサウンドバーを追加します。

別のWi-Fiネットワークに接続する

ネットワーク名やパスワードを変更した場合や、他のネットワークに変更する、または追加する場合は、異なるネットワークに接続します。

1. ライトバーがオレンジに点灯するまで、リモコンのTVボタン  とトラック戻しボタン  を同時に長押しします。
2. お使いのモバイル機器で、Wi-Fi設定を開きます。
3. **Bose Smart Soundbar 900**を選択します。
4. Bose Musicアプリを開いて、アプリに表示される手順に従います。

注: アプリでセットアップ画面が表示されない場合は、メイン画面を開いてサウンドバーを追加します。

Bose Music アプリを使用してサウンドバーを設定し終わったら、最高の音質を得るため、ADAPTiQ 自動音場補正の実行を求めるメッセージが表示されます。ADAPTiQ 自動音場補正は、部屋の複数の場所でオーディオ測定を行うことで、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

ADAPTiQ 自動音場補正は、最適な音場にするためにADAPTiQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

ADAPTiQ 自動音場補正を実行する

ベースモジュールやサラウンドスピーカーを後で接続した場合や、サウンドバーまたは家具を移動した場合は、ADAPTiQ 自動音場補正を再度実行して音質を調整してください。

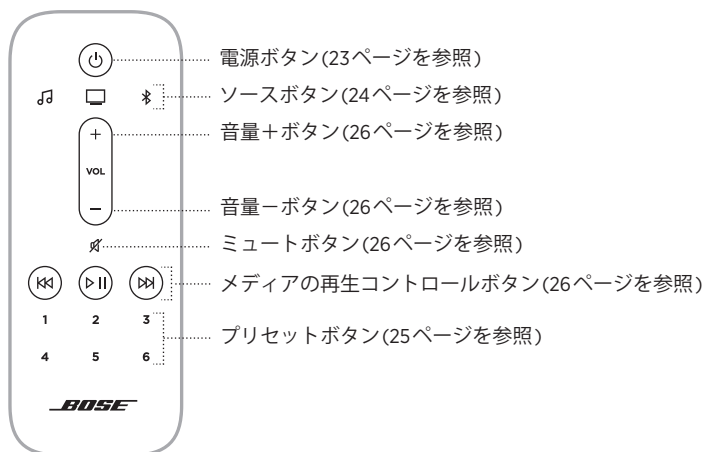
ADAPTiQ 自動音場補正を実行するには、Bose Music アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

サウンドバーの操作は、サウンドバー天面のボタンとリモコンで行います。

ヒント: Bose Music アプリを使用してサウンドバーを操作することもできます。

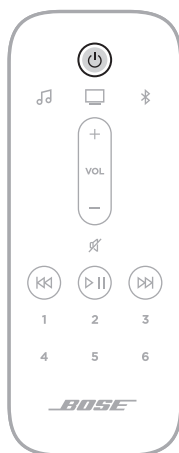
リモコンの機能

リモコンを使用して、サウンドバーの操作、Bluetooth 接続、プリセットの設定と操作を行います。



電源オン/オフ

サウンドバーの電源をオンまたはオフにするには、リモコンの電源ボタン  を押します。



サウンドバーの電源をオンにすると、最後に使用したソースになります。

注:

- サウンドバーを電源コンセントに接続すると、サウンドバーの電源が自動的にオンになります。
- サウンドバーの電源がオフになっていても、音声アシスタントにはアクセスできます。

ヒント: Voice4Video™機能を使用して、サウンドバーの電源をオンまたはオフにすることもできます(35ページを参照)。

自動ウェイク機能(光デジタル接続のみ)

音声信号を受信するたびにサウンドバーの電源がオンになるように設定できます。

自動ウェイク機能とデフォルトの電源設定を切り替えるには、ピープ音が聞こえ、ライトバーが白で2回点滅するまで、 ボタンを10秒間長押しします。

ヒント: Bose Music アプリを使用して、自動ウェイク機能を制御することもできます。このオプションは設定メニューから設定できます。

ソース機器

リモコンを使用して、テレビとBluetooth接続機器の操作、Bose Musicアプリのオーディオの操作を行うことができます。

ソース機器を選択するには、リモコンの該当するボタン(Bose Musicアプリ 、テレビ 、またはBluetooth )を押します。



ヒント:

- Voice4Video™機能を使用して、Bluetooth接続機器を選択することもできます(35ページを参照)。
- Bose Musicアプリを使用してソース機器を選択することもできます。

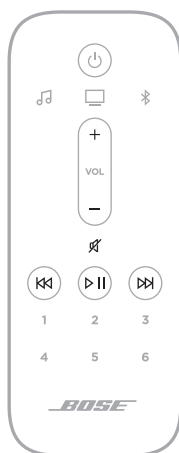
プリセット

サウンドバーには6つのプリセットがあり、お気に入りの音楽サービスを自由に設定できます。設定しておく、リモコンのボタンやBose Musicアプリを使用して、オーディオをいつでも簡単に再生できます。



プリセットの詳細については、「プリセットのカスタマイズ」(37ページ)をご覧ください。

メディアの再生と音量調節

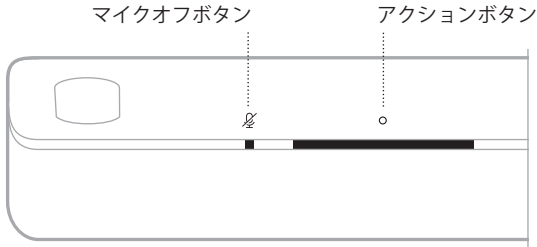


機能	操作方法
再生/一時停止	▶ ボタンを押します。 注: - 一時停止すると、再生を再開するまでの間、ライトバーの中央にある2つのインジケーターが白に点灯します。 - Bose Music アプリまたは <i>Bluetooth</i> 接続機器がソースの場合のみ、音楽の再生/一時停止が可能です。
トラック送り	▶▶ ボタンを押します。
トラック戻し	◀◀ ボタンを押します。
音量を上げる	+ ボタンを押します。 注: 音量をすばやく上げるには、+ ボタンを長押しします。
音量を下げる	- ボタンを押します。 注: 音量をすばやく下げるには、- ボタンを長押しします。
ミュート/ミュート解除ボタン	🔇 ボタンを押します。 ミュートすると、ミュート解除するまでの間、ライトバーの左端が白に点灯します。 ヒント: + ボタンを押して、ミュート解除することもできます。

ヒント: Voice4Video™機能を使用して、特定ソースのメディアの再生と音量調節を行うこともできます(35ページを参照)。

音声アシスタントの操作

アクションボタン  とマイクオフボタン  を使用して、Googleアシスタント (29ページを参照) またはAmazon Alexa (32ページを参照) を操作することができます。



オーディオを調整する

低音、高音、センターチャンネル、ハイトチャンネルの調整は、Bose Musicアプリで行います。このオプションは設定メニューから設定できます。

音声アシスタントのオプション

Google アシスタントまたは Amazon Alexa にすばやく簡単にアクセスできるようにサウンドバーを設定することができます。

注:

- Google アシスタントと Amazon Alexa に同時にアクセスできるようにサウンドバーを設定することはできません。
- 一部の言語や国では Google アシスタントや Amazon Alexa を利用できません。

プログラムオプション	使用方法
Google アシスタント	話しかけるか、アクションボタン○を使います (29 ページを参照)。
Amazon Alexa	話しかけるか、アクションボタン○を使います (32 ページを参照)。

音声アシスタントのセットアップ

始める前に、モバイル機器とサウンドバーが同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。

音声アシスタントを設定するには、Bose Music アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

注:

- 音声アシスタントを設定するときは、Bose Music アプリで使用したのと同じ音楽サービスのアカウントを必ず使用してください。
- ご家庭に複数の Bose Music 製品がある場合は、音声アシスタントをどこでも利用できるように、すべての Bose Music 製品で 1 人の Bose Music アカウントと音声アシスタントのアカウントを使用して音声アシスタントを設定することをお勧めします。

GOOGLE アシスタントにアクセスする

このサウンドバーに話しかけて、自宅で簡単に音楽を楽しむことができます。ハンズフリーで、お気に入りの音楽を再生したり、音量を調節したり、聴いている曲の情報を検索したりできます。また、話しかけるだけで、その日の予定を立てたり、アラームを設定したり、家中のスマートデバイス进行操作したりすることもできます。「OK Google」と呼びかけるか、アクションボタン○をタップするだけで、Google と会話できます。

Google アシスタントのできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：
<https://support.google.com/assistant>

注:

- 一部の言語や国では Google アシスタントを利用できません。
- Google アシスタントで音楽を再生する方法については、31 ページをご覧ください。

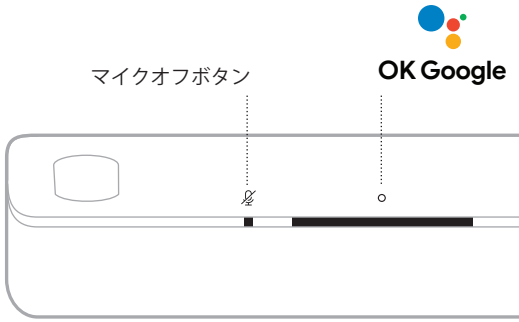
音声で操作する

最初に「OK Google」と呼びかけてから、リクエストを言います。

できること	呼びかけ方の例
エンターテインメントを楽しむ	音楽を再生して
その日の予定を立てる	今日のスケジュールは？
タスクを管理する	明日の朝7時にアラームを設定して
スマートホームデバイスを操作する	電気をつけて
知恵を借りる	今週末の天気は？

サウンドバーの操作ボタンを使用する

アクションボタン ○ とマイクオフボタン ㄩ を使用して、Googleアシスタントを操作することができます。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	操作方法
Googleに話しかける	○ ボタンを押して、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください： https://support.google.com/assistant
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンを押します。
Googleアシスタントを停止する	○ ボタンを押します。
マイクをオンまたはオフにする	ㄩ ボタンを押します。 マイクをオフにすると、マイクオフインジケーターが赤に点灯し、Googleアシスタントにアクセスできなくなります。

GOOGLE アシスタントで音楽を再生する

Google アシスタントに話しかけて、デフォルトの音楽サービスまたは特定の音楽サービスから音楽を再生できます。

最初に「OK Google」と呼びかけてから、リクエストを言います。

できること	呼びかけ方の例
音楽を再生する	音楽を再生して。 注: Google アシスタントはデフォルトの音楽サービスを使用します。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Google アシスタントアプリを使用します。
スピーカーを操作する	音量を上げて。
特定の音楽サービスから再生する	TuneIn で NPR ラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。) 注: Google アシスタントがサポートしていない音楽サービスもあります。
特定のスピーカーで再生する	リビングのスピーカーでジャズをかけて。 注: Bose Music アプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Google アシスタントアプリで設定した名前を使用するか、Bose Music アプリで名前を変更します。

デフォルトの音楽サービスを選択する

Google アシスタントの初期設定中に、Google アシスタントアプリからデフォルトの音楽サービスの選択を求められます。Bose 製品で Google アシスタントを使って音楽を再生する場合、サポートされているデフォルトのサービスは Pandora と Spotify だけです。セットアップ中には他の音楽サービスもリストに表示されていますが、それらはサポートされていません。

デフォルトの音楽サービスには、Pandora または Spotify を選択してください(音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります)。サポートされていない音楽サービスを選択した場合、音楽の再生をリクエストするとエラーメッセージが聞こえます。

AMAZON ALEXAにアクセスする

サウンドバーに搭載されたAlexaを使って、生活をシンプルにして、声で音楽などをコントロールすることができます。Alexaの使い方は、質問をするだけで簡単です。「アレクサ」と呼びかけるだけで、お気に入りの曲の再生、次の曲へのスキップ、音量の変更、ニュースの読み上げなど、さまざまなことができます。サウンドバーのAlexaを使用すれば、声だけで簡単にスマートホームをコントロールできます。

Alexaでできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：

<https://www.amazon.com/usealexa>

注：一部の言語や国ではAlexaを利用できません。

音声で操作する

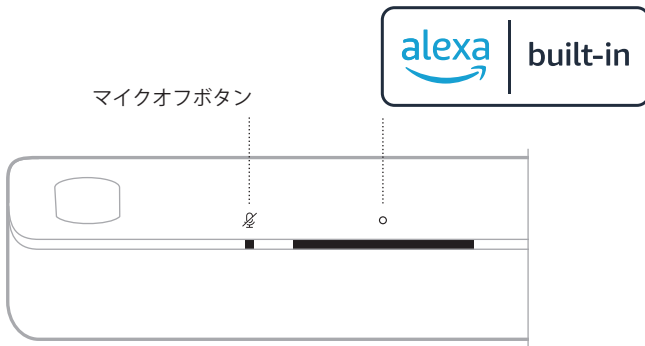
最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
Alexaに話しかける	使い方を教えて。
音楽を再生する	ロックをかけて。 注： Amazon Musicがデフォルトの音楽サービスとして設定されています。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Alexaアプリを使用します。
音楽を一時停止する	一時停止。
音量を調節する	音量を上げて。
次の曲にスキップする	スキップ。
特定の音楽サービスから再生する	TuneInでNPRラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。) 注： Amazon Alexaがサポートしていない音楽サービスもあります。
特定のスピーカーで再生する	キッチンでジャズをかけて。 注： Bose Musicアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。
タイマーをセットする	タイマーを15分にセットして。

できること	呼びかけ方の例
他のスキルを調べる	使い方を教えて。
Alexaを停止する	ストップ。

サウンドバーの操作ボタンを使用する

アクションボタン ○ とマイクオフボタン ✕ を使用して、Amazon Alexaを操作することができます。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	操作方法
Alexaに話しかける	○ ボタンを押して、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください： https://www.amazon.com/usealexa
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンを押します。
Alexaを停止する	○ ボタンを押します。
マイクをオンまたはオフにする	✕ ボタンを押します。 注：マイクをオフにすると、マイクオフインジケータが赤に点灯し、Alexaにアクセスできなくなります。

AMAZON ALEXAによる通話とメッセージング

ご家庭やご家族のつながりをより良いものにします。Alexaがお使いのデバイスをインターホンにして、部屋どうしや別の家との間で双方向通話ができるようになります。ひとつの部屋から他の部屋にアナウンスしたりできます。またAlexaを使えば、対応するAlexaデバイスや、対応するスマートフォンやタブレットのAlexaアプリを介して、ほぼすべての人に無料で電話やメッセージを送ることができます。

注: 双方がAlexa対応デバイスを持ち、Alexaコール・メッセージ機能が利用可能かつ有効であり、Alexaアプリで通話相手を許可している必要があります。

Alexaコール・メッセージ機能のセットアップ

Alexaコール・メッセージ機能をセットアップするには、Alexaアプリを使用します。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
家庭内のデバイスに呼びかける	「キッチン」に呼びかけて。 注: 機器がBose製品の場合は、Bose Musicアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。
他の家にいる家族や友人に呼びかける	「お母さんのキッチン」に呼びかけて。 注: 所有者のBose MusicアプリやAlexaアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。
電話をかける	お母さんに電話して。
着信に応答する	電話に出て。
着信やメッセージを拒否する	着信拒否。
通話を終了する	通話を終了。
メッセージを再生する	メッセージを再生。

できること	呼びかけ方の例
緊急連絡先に電話する	緊急連絡先に電話して。
アナウンスする	夕食が準備できたと知らせて。

おやすみモードの設定

サウンドバーへのすべての着信通知、アナウンス、通話を一時的に無効にすることができます。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
おやすみモードを有効にする	おやすみモードオン。
おやすみモードを無効にする	おやすみモードオフ。

ヒント： Alexa アプリを使っておやすみモードを設定することもできます。

VOICE4VIDEO™でオーディオをコントロールする

Bose Voice4Video™により、Amazon Alexaの音声コントロール機能を拡張することで、他のサウンドバーでは不可能な機能が実現します。Smart Soundbarを操作するだけでなく、声だけでテレビやCATV/BS/CSチューナーを操作することができます。Alexaにリクエストを言うだけで、テレビやSmart Soundbarの電源をオンにしたり、ビデオ機器に切り替えたり、ネットワーク名やチャンネル番号で選局したり、お気に入りの番組をすぐに見始めたりすることができます。Bose Voice4Video™を使えば、技術に詳しくない子供や高齢者でもエキスパートのように操作できるので、紛失しがちなリモコンや、リモコン操作の説明書は不要になります。

Voice4Video™をセットアップする

Voice4Video™をセットアップするには、Bose Music アプリを使用します。

注： Voice4Video™をセットアップする前に、Bose Music アプリでAlexaを設定する必要があります (28 ページを参照)。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
テレビの電源オン	テレビをつけて。
テレビの電源オフ	テレビを消して。
ビデオを再生する	再生。
ビデオを一時停止する	一時停止。
ビデオを再開する	再開。
ビデオを早送りする	早送り。
ビデオを巻き戻す	巻き戻し。
入力を <i>Bluetooth</i> オーディオに切り替える	<i>Bluetooth</i> に切り替え。
チャンネル名を指定して見る*	NFL ネットワークをつけて。
チャンネル番号を指定して見る*	チャンネル802をつけて。
次のチャンネルに送る*	次のチャンネル。
前のチャンネルに戻す*	前のチャンネル。

*CATV/BS/CSチューナーでのみ使用できます。

Bose Music アプリやリモコンを使用して、プリセットを操作できます。

注: ソースが *Bluetooth* 接続機器の場合、プリセットの設定はできません。

プリセットを設定する

1. Bose Music アプリを使用して音楽をストリーミング再生します。
2. リモコンの Bose Music ボタン  を押します。



3. ビープ音が聞こえるまで、プリセットボタンを長押しします。



プリセットを再生する

プリセットを設定すると、リモコンのプリセットボタンを押して音楽を再生できます。



モバイル機器を接続する

1. リモコンの *Bluetooth* ボタンを押します。



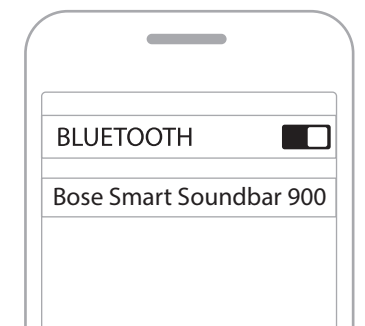
ライトバーが青に点滅します。

2. モバイル機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* メニューは設定メニューにあります。

3. デバイスリストからお使いのサウンドバーを選択します。

注: Bose Music アプリでサウンドバーに付けた名前を探してください。サウンドバーに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ピープ音が聞こえ、ライトバーが白に点灯してから次第に消灯します。モバイル機器のリストにサウンドバーの名前が接続済みと表示されます。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の接続を解除するには、Bose Music アプリを使用します。

ヒント: モバイル機器の *Bluetooth* 設定を使用することもできます。*Bluetooth* 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

リモコンの *Bluetooth* ボタン ✱ を押します。

サウンドバーは、最後に接続していた機器に自動的に再接続します。

注:

- モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- 機器との距離が 9 m 以内で、電源がオンになっている必要があります。

別のモバイル機器を接続する

サウンドバーのデバイスリストには、機器を最大 8 台記憶できます。

注: ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

1. ライトバーが青に点滅するまで、リモコンの *Bluetooth* ボタン ✱ を長押しします。
2. モバイル機器で、デバイスリストから本製品を選択します。

注: モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。

サウンドバーのデバイスリストを消去する

1. ライトバーが白で 2 回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの ✱ ボタンを 10 秒間長押しします。

ライトバーが青に点滅します。

2. 機器の *Bluetooth* リストからサウンドバーを削除します。

すべての機器が消去され、サウンドバーが新しい機器と接続可能な状態になります (39 ページを参照)。

このサウンドバーはAirPlay 2オーディオの再生に対応しており、お持ちのApple製品からこのサウンドバーに音楽を簡単にストリーミング再生することができます。複数のスピーカーで再生することも可能です。

注:

- AirPlay 2を使用するには、iOS 11.4以降を実行しているApple製品が必要です。
- Apple製品とサウンドバーは同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。
- AirPlayの詳細情報については、次のサイトをご覧ください:
<https://www.apple.com/airplay>

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する

1. Apple製品でコントロールセンターを開きます。
2. 画面の右上隅にあるオーディオカードを長押しして、AirPlayアイコン  をタップします。
3. サウンドバーを選択します。

アプリから音楽をストリーミング再生する

1. 音楽アプリ(Apple Musicなど)を開き、再生する曲を選択します。
2.  をタップします。
3. サウンドバーを選択します。

サウンドバーの前面にあるLEDライトバーには、サウンドバーの状態が表示されます。



注: ライトバーには1つの選択機器の状態のみ表示されます。

WI-FIの状態

サウンドバーのWi-Fi接続の状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
白の点滅		Wi-Fiに接続中
白に点灯してから次第に消灯		Wi-Fiに接続しました

BLUETOOTHの状態

モバイル機器のBluetooth接続の状態を示します。

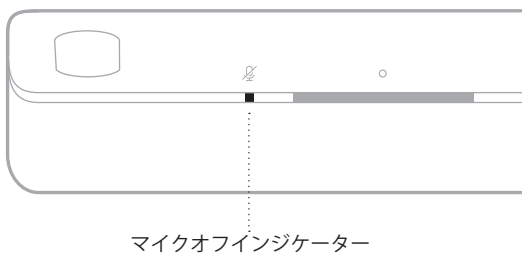
ライトバーの状態		システムの状態
青の点滅		モバイル機器に接続できます
白の点滅		モバイル機器に接続中
白に点灯してから次第に消灯		モバイル機器に接続しました
白のライトが2回点滅してから消灯		デバイスリストを消去中

音声アシスタントの状態

音声アシスタントの状態を示します。

ライトバーの状態	システムの状態
消灯	音声アシスタントはアイドル状態です
白のライトが中央に移動して点灯	音声アシスタントがリクエストを待っています
白のライトが両端に移動	音声アシスタントが考えています
白の点滅(フル)	音声アシスタントが話しています
黄色の点滅	音声アシスタントから通知があります
白に点灯してから白のライトが両端に移動	音声アシスタントからアラートがあります
緑の点滅	着信中またはコール中です 注: Amazon Alexaのみ。
緑の点灯	通話がつながりました 注: - 通話が切断されると、ライトバーが次第に消灯します。 - Amazon Alexaのみ。
紫に点灯してから次第に消灯	「おやすみモード」が有効です 注: 「おやすみモード」を有効にすると、Alexaに話しかけるたびにライトバーが紫に点滅します。 - Amazon Alexaのみ。

マイクオフインジケーター



インジケーターの状態

システムの状態

赤の点灯

マイクがオフです

メディアの再生と音量の状態

メディアの再生と音量を操作しているときのサウンドバーの状態を示します。

ライトバーの状態

システムの状態

中央の2つのライトが白で点灯		一時停止
ライトバーの右端が白で点滅		音量を上げる
ライトバーの左端が白で点滅		音量を下げる
ライトバーの左端が白で点灯		ミュート

アップデートとエラーの状態

ソフトウェアのアップデート状態とエラーの警告を示します。

ライトバーの状態	システムの状態
オレンジの点灯 	Wi-Fiセットアップを実行中です
白のライトが右から左へ移動 	アップデートをダウンロードしています
白のライトが左から右へ移動 	サウンドバーをアップデートしています
オレンジの4回点滅 	ソースエラー、Bose Music アプリを参照してください
赤の4回点滅 	一時的にリクエストが受け付けられません。後でやり直してください
赤の点灯 	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

WI-FI機能のオン/オフを切り替える

ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンのBose Music ボタン  とトラック送りボタン  を同時に長押しします。



アクセサリ機器を接続する(オプション)

以下のアクセサリ機器をサウンドバーに接続することができます。詳細については、アクセサリ機器の取扱説明書をご覧ください。

- **Bose Bass Module 700:** [Bose.com/BM700](https://www.bose.com/BM700)
- **Bose Bass Module 500:** [Bose.com/BM500](https://www.bose.com/BM500)
- **Bose Surround Speakers 700:** [Bose.com/SS700](https://www.bose.com/SS700)
- **Bose Surround Speakers:** [Bose.com/SS](https://www.bose.com/SS)

SIMPLESYNC™テクノロジーにより BOSE SOUNDLINK BLUETOOTH SPEAKER または BOSE HEADPHONES を接続する

Bose SimpleSync™テクノロジーにより、一部のBose SoundLink *Bluetooth* speaker またはBoseヘッドホンをサウンドバーに接続して、新しい方法で音楽や映画を楽しむことができます。

特長

- **テレビの音をヘッドホンで楽しむ:** Boseヘッドホンをサウンドバーに接続して、他の人に迷惑をかけずにテレビの音を聴くことができます。製品ごとの音量を個別に調節できるので、ヘッドホンの音量はそのままにして、サウンドバーの音量を下げたりミュートしたりできます。
- **別の部屋で音楽を同時に楽しむ:** Bose SoundLink *Bluetooth* speaker をサウンドバーに接続して、同じ曲を2つの部屋で同時に聴くことができます。

注: SimpleSync™テクノロジーは、最大9 mの*Bluetooth*通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

ほとんどのBose SoundLink *Bluetooth* speakersとBoseヘッドホンをサウンドバーに接続できます。

対応製品の例:

- Bose SoundLink Revolve+ *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Mini *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Color *Bluetooth* speaker
- Bose Noise Cancelling Headphones 700
- Bose QuietComfort 35 wireless headphones

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。 worldwide.bose.com/Support/Groups

Bose Music アプリを使用して接続する

Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose ヘッドホンを接続するには、Bose Music アプリを使用します。詳しくは、次のサイトをご覧ください：

worldwide.Bose.com/Support/Groups

注:

- 接続する製品の電源がオンになっていて、サウンドバーから 9 m 以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
- サウンドバーと一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE SOUNDLINK BLUETOOTH SPEAKER または BOSE HEADPHONES を再接続する

Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose headphones の電源をオンにします。

スピーカーやヘッドホンは、最後に接続していた *Bluetooth* 機器 (サウンドバーなど) への接続を試みます。

注:

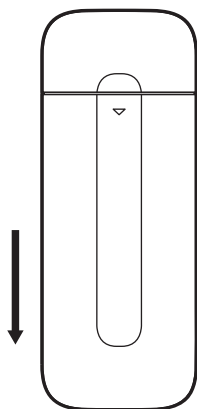
- サウンドバーが通信範囲内 (9 m) にあり、電源が入っている必要があります。
- スピーカーを接続できない場合は、「以前に接続されていた Bose SoundLink *Bluetooth* speaker とサウンドバーを再接続できない」(58 ページ) をご覧ください。
- ヘッドホンを接続できない場合は、「以前に接続されていた Bose ヘッドホンとサウンドバーを再接続できない」(58 ページ) をご覧ください。

サウンドバーをアップデートする

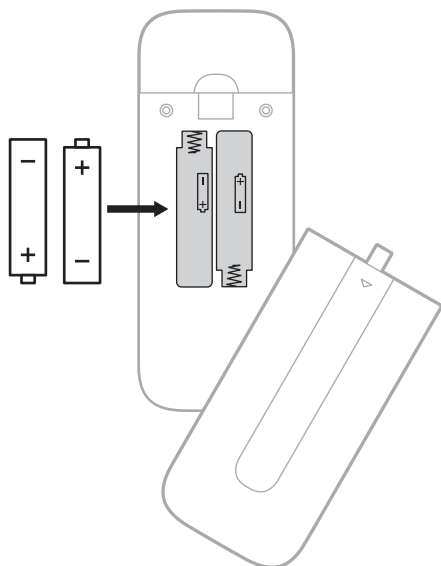
サウンドバーがBose Musicアプリに接続され、Wi-Fiネットワークに接続されている場合、サウンドバーは自動的にアップデートされます。

リモコンの電池の挿入

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。



2. 付属の単四形アルカリ乾電池2本を入れます。電池ケースに表示されている + と - の向きと、乾電池の + と - の向きを正しく合わせてください。



3. 電池カバーをスライドして元に戻します。

サウンドバーのお手入れについて

サウンドバーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

- サウンドバーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- アップファイアリングスピーカーやサウンドバーに空気を吹き付けないでください。
- アップファイアリングスピーカーやサウンドバーに掃除機をかけないでください。
- アップファイアリングスピーカーやサウンドバーの近くでスプレーを使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/Support/SB900

保証

製品保証の詳細は global.Bose.com/warranty をご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

最初にお試しいただくこと

サウンドバーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- サウンドバーが接続されているコンセントに電源が供給されていることを確認します。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- サウンドバーの状態を確認します(42ページを参照)。
- Bose Musicアプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します。
- 設置ガイドに沿ってサウンドバーを設置します(16ページを参照)。
- サウンドバーが正しく動作するように、モバイル機器の推奨通信範囲内へ移動します。
- サウンドバーはワイヤレス機器から30～90 cmほど離して設置します。
- Wi-Fiアクセスポイントが、サウンドバー、オプションのベースモジュール、オプションのサラウンドスピーカーから最大2.4～3.0 m離して設置されていることを確認します。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
テレビにeARC端子がない	テレビのHDMI ARC端子を使用します。 光ケーブルを使用してサウンドバーとテレビを接続します。
テレビにHDMI eARC端子、HDMI ARC端子、光デジタル音声端子がない	同軸デジタルケーブル、3.5 mmステレオ音声ケーブル、アナログ - ステレオケーブルなどを使用して、オーディオコンバーターを介してテレビを接続します(別途ご購入ください)。必要なコンバーターとケーブルの種類は、お持ちのテレビで利用できる音声出力端子の種類によって異なります。
サウンドバーの電源が入らない	電源ケーブルを別のコンセントに差し込みます。 リモコンを使用してサウンドバーの電源をオンにします(23ページを参照)。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
サウンドバーの電源がオフにならない	サウンドバーがネットワーク待機状態になっている可能性があります。リモコンの電源ボタンを押して、サウンドバーをアクティブにします。もう一度電源ボタンを押して、サウンドバーの電源をオフにします。

症状	対処方法
Dolby Atmosで音声 が再生されない	Bose Musicアプリをチェックして、Dolby Atmosでストリーミングされていることを確認します。Dolby Atmosでストリーミングされていない場合は、テレビの詳細な音声設定でDolby Atmosがサウンドバーにパススルーされているかどうかを確認してください。テレビの取扱説明書をご覧ください。
リモコンが正しく機 能しないことがあ る、またはまったく 機能しない	電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせてください(49ページを参照)。 電池を交換します(49ページを参照)。 リモコンがサウンドバーの操作可能範囲内(6m以内)にあることを確認します。 リモコンとサウンドバーの間に障害物がないことを確認します。
サウンドバーの音 が途切れる、聞こえ ない	ライトバーの左端が白く点灯している場合、サウンドバーはミュートされています。ミュートボタン  を押して、サウンドバーをミュート解除します。 お使いのモバイル機器がミュートされていないことを確認します。 サウンドバーの音量(26ページを参照)またはモバイル機器の音量を上げます。 別のソースに切り替えてみます(24ページを参照)。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 Wi-Fiソースからのオーディオの場合は、ルーターをリセットします。 モバイル機器を再起動します。 対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。 サウンドバーのHDMIケーブルがテレビのHDMI eARC (Enhanced Audio Return Channel)と表示されている端子に接続されていることを確認します。標準HDMI端子には接続しないでください。テレビにHDMI eARC端子がない場合は、HDMI ARC端子に接続します。テレビにARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーを接続します(62ページを参照)。 サウンドバーがテレビのHDMI eARC (またはARC)端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで Consumer Electronics Control (CEC) 機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。 サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI eARC (またはARC)端子から取り外して、再度接続します。 光デジタルケーブルをテレビの音声出力(Output または OUT)端子に接続します。音声入力(InputまたはIN)端子には接続しないでください。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。 Bose Musicアプリを使用して、CEC機能を「 Alternate On (個別指定) 」に設定します。

症状	対処方法
サウンドバーとベースモジュールまたはサラウンドスピーカーを接続できない	トラブルシューティングについては、ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの取扱説明書をご覧ください(47ページを参照)。 ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーがサウンドバーに対応していることを確認します(47ページを参照)。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。
ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーから音が聞こえない	ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーがサウンドバーに対応していることを確認します(47ページを参照)。 Bose Music アプリでソフトウェアが最新のものであることを確認します。 Bose Music アプリを使用して低音を調整します(27ページを参照)。 別のソースに切り替えてみます(24ページを参照)。
テレビから音が出る	サウンドバーのHDMIケーブルがテレビのHDMI eARC (Enhanced Audio Return Channel)と表示されている端子に接続されていることを確認します。標準HDMI端子には接続しないでください。テレビにHDMI eARC端子がない場合は、HDMI ARC端子に接続します。テレビにARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーを接続します(62ページを参照)。 サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI eARC (またはARC)端子から取り外して、再度接続します。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。 テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。 テレビの音量を最小に設定します。 サウンドバーがテレビのHDMI eARC (またはARC)端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューでConsumer Electronics Control (CEC)機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。 Bose Music アプリを使用して、CEC機能を「Alternate On (個別指定)」に設定します。
音質が良くない、音が歪む	別のソース機器で試してみます(可能な場合)。 テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します。テレビの取扱説明書をご覧ください。 別の機器からオーディオが再生されている場合は、その機器の音量を下げます。 Bose Music アプリを使用して低音を調整します(27ページを参照)。 テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。 音が出ることを確認します(63ページを参照)。 ADAPTIQ自動音場補正を実行します(21ページを参照)。

症状	対処方法
サウンドバーで正しいソース機器からの音が再生されない、またはしばらくしてから正しくないソース機器に切り替わる	Bose Musicアプリを使用して、CEC機能を「Alternate On (個別指定)」に設定します。 ソース機器のCEC機能を無効にします。接続機器の取扱説明書をご覧ください。
サウンドバーとソース機器の電源を同時にオン/オフできない	リモコンで、同期していないソース機器に対応するボタンを押します。 電源ボタン  を押して、ソース機器の電源をオン/オフします。
サウンドバーをWi-Fiネットワークに接続できない	Bose Musicアプリで、正しいネットワーク名を選択して、ネットワークのパスワードを入力します(大文字と小文字を区別して入力してください)。 サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。 ネットワークの設定情報を変更した場合は、20ページをご覧ください。 セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。 モバイル機器で開いている他のアプリケーションを終了します。 モバイル機器とルーターを再起動します。 ルーターが2.4GHz帯と5GHz帯の両方に対応している場合は、機器(モバイル機器やパソコン)とサウンドバーが同じ周波数帯を使用して接続していることを確認します。 注: 各周波数帯に固有の名前を付けて、正しい周波数帯に接続していることを確認してください。 ルーターをリセットします。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールして再インストールし、セットアップをやり直します。 Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。 別のネットワークに接続し、アプリでセットアップ画面が表示されない場合は、メイン画面を開いてサウンドバーを追加します。
サウンドバーをBluetooth機器に接続できない	モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、オンにします。Bluetoothリストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみます(39ページを参照)。 別のモバイル機器と接続して試してみてください(40ページを参照)。 対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。 モバイル機器のBluetoothリストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみます(39ページを参照)。 サウンドバーのデバイスリストを消去します(40ページを参照)。もう一度接続してみます(39ページを参照)。

症状	対処方法
AirPlayを使用して音楽をストリーミング再生できない	サウンドバーの電源がオンになっていて、通信範囲内にあることを確認します(23ページを参照)。 Apple製品とサウンドバーが同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。 Apple製品をアップデートします。 サウンドバーが最新の状態であることを確認します(49ページを参照)。 ストリーミング再生する音楽アプリでAirPlayアイコン  が見つからない場合は、コントロールセンターから音楽をストリーミング再生してください。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://www.apple.com/airplay
モバイル機器でBose Musicアプリが動作しない	お使いのモバイル機器がBose Musicアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。 モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールしてから、アプリを再インストールします(19ページを参照)。
別のBoseアカウントに追加する際にサウンドバーが表示されない	Bose Musicアプリを使用して、サウンドバーの共有が有効であることを確認します。 サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。

症状	対処方法
Google アシスタントが反応しない	マイクオフインジケーターが赤に点灯していないことを確認します。マイクをオンにするには、30 ページをご覧ください。 Google アシスタントが Bose Music アプリを使用して設定されていることを確認します (28 ページを参照)。 注: Bose Music アプリを使用してサウンドバーを設定し、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。モバイル機器を Wi-Fi に接続します。 モバイル機器を Wi-Fi に接続します。 Google アシスタントが利用可能な国にいることを確認します。 最新バージョンの Google アシスタントアプリを使用していることを確認します。 音声による起動が有効であることを確認します (29 ページを参照)。 お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。 Bose Music アプリを使用して、サウンドバーから Google アシスタントを削除します。もう一度 Google アシスタントを追加します。 デフォルトの音楽サービスとして、Pandora または Spotify を選択します (31 ページを参照)。 Bose Music アプリと Google アシスタントアプリでは、必ず同じ音楽サービスのアカウントを使用してください。 Google アシスタントがリクエストをサポートしていない場合があります。新しい機能も随時追加されます。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://support.google.com/assistant
Google アシスタントのアカウントに基づく情報の設定を変更する	アカウントに基づく情報を無効にしたり、使用するアカウントを変更したりするには、Google アシスタントアプリの [設定] メニューを使用します。

症状	対処方法
Alexaが反応しない	マイクオフインジケーターが赤に点灯していないことを確認します。マイクをオンにするには、33ページをご覧ください。 AlexaがBose Musicアプリを使用して設定されていることを確認します(28ページを参照)。 注: Bose Musicアプリを使用してサウンドバーを設定し、Wi-Fiネットワークに接続する必要があります。 モバイル機器をWi-Fiに接続します。 Amazon Alexaが利用可能な国にいることを確認します。 最新バージョンのAlexaアプリを使用していることを確認します。 お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。 音声による起動が有効であることを確認します(32ページを参照)。 Bose Musicアプリを使用して、サウンドバーからAlexaを削除します。もう一度Alexaを追加します。 Bose Musicアプリで設定した名前を言っていることを確認します。複数のサウンドバーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。 Voice4Video™を使用している場合: - サウンドバー、テレビ、CATV/BS/CSチューナーの間に障害物がないことを確認します。 - サウンドバーがHDMIケーブルで接続されていることを確認します(61ページを参照)。 - Bose Musicアプリを使用してこの機能を設定し、テレビやCATV/BS/CSチューナーが接続されていることを確認します。 - 郵便番号とCATV/BS/CSチューナーのサービスプロバイダが入力されていることを確認します。 Alexaがリクエストをサポートしていない場合があります。新しい機能も随時追加されます。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください。 https://www.amazon.com/usealexa
プリセットが反応しない	プリセットが設定されていることを確認します(37ページを参照)。
サウンドバーとBose SoundLink Bluetooth speakerまたはBoseヘッドホンを接続できない	スピーカーやヘッドホンの電源がオンになっていて、サウンドバーから9 m以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

症状	対処方法
以前に接続されていた Bose SoundLink Bluetooth speaker とサウンドバーを再接続できない	スピーカーで、製品コントロールを使用して、サウンドバーの名前が聞こえるまで製品のデバイスリストを順に切り替えます。具体的な製品に関する説明については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。
以前に接続されていた Bose ヘッドホン とサウンドバーを再接続できない	Bose Music アプリを使用して接続します。このオプションは設定メニューから設定できます。
接続した Bose SoundLink Bluetooth speaker や Bose headphones から音が遅れて再生される	一部の Bose SoundLink Bluetooth speaker では、サウンドバーに接続して完璧に同期した状態でオーディオを再生できない場合があります。お使いの製品が対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご覧ください。 worldwide.bose.com/Support/Groups スピーカーやヘッドホンのソフトウェアアップデートがあればインストールします。アップデートを確認するには、モバイル機器で製品に該当する Bose アプリを開くか、パソコンから btu.bose.com にアクセスします。

サウンドバーをリセットする

工場出荷時の設定にリセットすると、ソース、音量、ネットワーク、ADAPTiQ自動音場補正などのすべての設定がサウンドバーから消去され、工場出荷状態となります。

1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの電源ボタン  とトラック送りボタン  を同時に5秒間長押しします。



サウンドバーが再起動します。リセットが完了すると、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

2. サウンドバーのネットワーク設定とオーディオ設定を元に戻すには、以下の手順に従います。
 - a. モバイル機器でBose Musicアプリを起動し、サウンドバーをネットワークに追加します(「既存のアカウントにサウンドバーを追加する」(20ページ)を参照)。
 - b. Bose Musicアプリを使用してADAPTiQ自動音場補正を実行します(21ページを参照)。

接続オプション

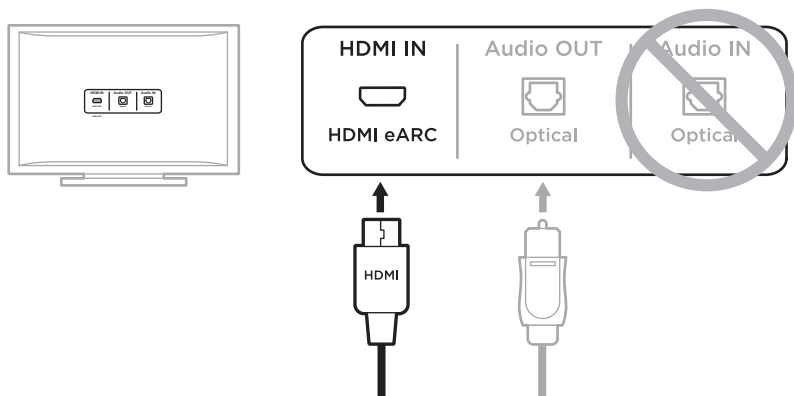
以下の接続オプションからどちらかを選択して、テレビとサウンドバーを接続します。

- **オプション1 (推奨):** HDMI eARC (Enhanced Audio Return Channel) または ARC 端子接続
- **オプション2:** 光デジタル接続

注: テレビのHDMI eARC端子を使用すると、テレビのリモコンを使用して、サウンドバーの電源、音量、ミュート機能を操作できます。

1. テレビの背面にある**HDMI IN**端子および**Audio OUT** (光デジタル)端子を探します。

注: お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。端子の形状で確認してください。



オプション1 (推奨)
HDMI eARC (またはARC) 端子接続:
この接続にはHDMIケーブルを使用します。

オプション2
光デジタル接続: お持ちのテレビにHDMI eARC (またはARC) 端子がない場合は、この接続には光デジタルケーブルを使用します。

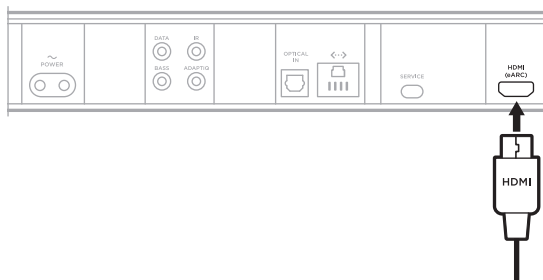
2. 音声ケーブルを選択します。

サウンドバーをテレビに接続する

音声ケーブルを選択したら、サウンドバーとテレビを接続します。

オプション1 (推奨): HDMI eARC端子またはARC端子接続

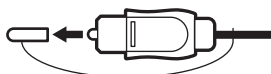
1. HDMIケーブルのプラグをテレビの**HDMI eARC**端子または**ARC**端子に接続します。
2. ケーブルの反対側を、サウンドバーの**HDMI (eARC)**端子に差し込みます。



オプション2: 光デジタル接続

お持ちのテレビにHDMI eARC (またはARC)端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーとテレビを接続します。

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。

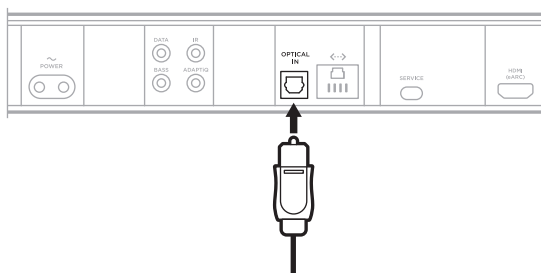


注意: キャップを付けたままプラグを差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

2. 光ケーブルのプラグをテレビの**OPTICAL OUT** (光デジタル音声出力)端子に接続します。

注意: プラグの向きを間違えて差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

3. 光ケーブルの反対側のプラグを持ちます。
4. プラグの向きをサウンドバーの**OPTICAL IN**端子に合わせて、慎重に差し込みます。



注: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

5. カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかりと差し込みます。



音が出ることを確認する

1. テレビの電源をオンにします。
2. テレビの内蔵スピーカーをオフにします。

注：詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合：
 - a. ソース機器の電源をオンにします。
 - b. テレビの入力を正しく選択します。
4. サウンドバーの電源をオンにします(23ページを参照)。
ソース機器の音がサウンドバーから聞こえます。
5. リモコンのミュートボタン  を押します。

テレビの内蔵スピーカーやサウンドバーから音が聞こえなくなります。

注：サウンドバーをミュートした後でテレビのスピーカーから音が聞こえている場合は、「テレビから音が出る」(53ページ)をご覧ください。

